

山陽小野田市スポーツによるまちづくり推進計画

2016～2025

スポーツを通じた

豊かな市民生活



山陽小野田市
SANYO ONODA CITY

平成28年3月

はじめに

山陽小野田市は、「子どもからお年寄りまで安心して
住み続けられる心豊かなまちを目指して」と題し、平成
20 年 3 月に第一次山陽小野田市総合計画を策定
しました。その中の重点戦略プロジェクトの一つとして
「スポーツまちづくりプロジェクト」を掲げております。それら
を実現するため、国の「スポーツ基本計画」や山口県が
示した「山口県スポーツ推進計画」に基づき、このたび、
「山陽小野田市スポーツによるまちづくり推進計画」を策定しました。



本計画の策定年度に山口県では、「ねんりんピック おいでませ！山口 2015」が開催さ
れ、本市もサッカー競技の会場の一つとなったことから、スポーツへの関心がより高まりました。
その一方で、スポーツの競技性のみにとらわれず、「いつでも・どこでも・いつまでも」できる身近
なスポーツや「する・観る・支える」というスポーツへの多様な関わりを通じて市民の誰もが、心
身ともに健康で暮らせることが期待されます。

それらは、近年懸念される家族形態の変化や地域社会の繋がり希薄化に対し、地域
づくりやまちづくりに寄与し、やがて市全体の一体感の醸成になり得るものと確信しておりま
す。

終わりに、本計画を策定するにあたり、ご尽力いただきました「山陽小野田市スポーツによ
るまちづくり推進委員会」の皆様をはじめ、アンケートやパブリック・コメントにご協力いただきま
した市民の皆様並びに関係各位に対しまして、心より御礼申し上げます。

平成 28 年 3 月

山陽小野田市
白井 正 文

目 次

第 1 章 計画策定の基本的な考え方

- 1 計画策定の趣旨 … 1
- 2 計画策定の位置付け … 2
- 3 計画の期間 … 3
- 4 スポーツの定義 … 3

第 2 章 スポーツをとりまく環境の変化

- 1 少子・高齢化と人口減少 … 4
- 2 子ども達をとりまく体力の現状と課題 … 5
- 3 地域の連帯感 … 6
- 4 健康志向 … 6

第 3 章 本市のスポーツの現状

- 1 アンケート調査の実施 … 7
- 2 市民のスポーツに対する意識（アンケート結果） … 8
- 3 アンケート調査の分析 … 17

第 4 章 計画の基本理念

- 1 基本理念（目指す姿） … 18
- 2 基本方針 … 18
- 3 基本目標 … 19

第5章 施策推進のための取組

基本方針1 生涯スポーツの推進	… 20
1 生涯スポーツの環境整備	… 20
2 地域スポーツ推進拠点の整備	… 21
3 健康及び体力の保持増進	… 23
4 障がい者スポーツの推進	… 24
基本方針2 競技スポーツの推進	… 25
1 競技スポーツの環境整備	… 25
基本方針3 「人財」の育成	… 27
1 将来を担う「人財」の育成	… 27
（1）子どもの体力向上・豊かな人間性の涵（かん）養	… 27
（2）学校体育の充実	… 28
2 スポーツを支える「人財」の育成	… 29
基本方針4 地域の活性化と環境整備	… 30
1 スポーツによるまちづくりの推進	… 30
2 施設整備の充実と利用促進	… 31

第6章 計画の推進体制と進捗管理

1 推進体制	… 32
2 計画の進捗管理	… 32

資料

1 アンケート調査表	… 1
・小中学生を除く 10 代以上	… 1
・小学 5 年生	… 9
・中学 2 年生	… 12
2 アンケート結果	… 15
・小中学生を除く 10 代以上	… 15
・小学 5 年生	… 17
・中学 2 年生	… 18
3 スポーツ施設の利用状況	… 19

第1章 計画策定の基本的考え方

1 計画策定の趣旨

「スポーツは、世界共通の人類の文化である。」

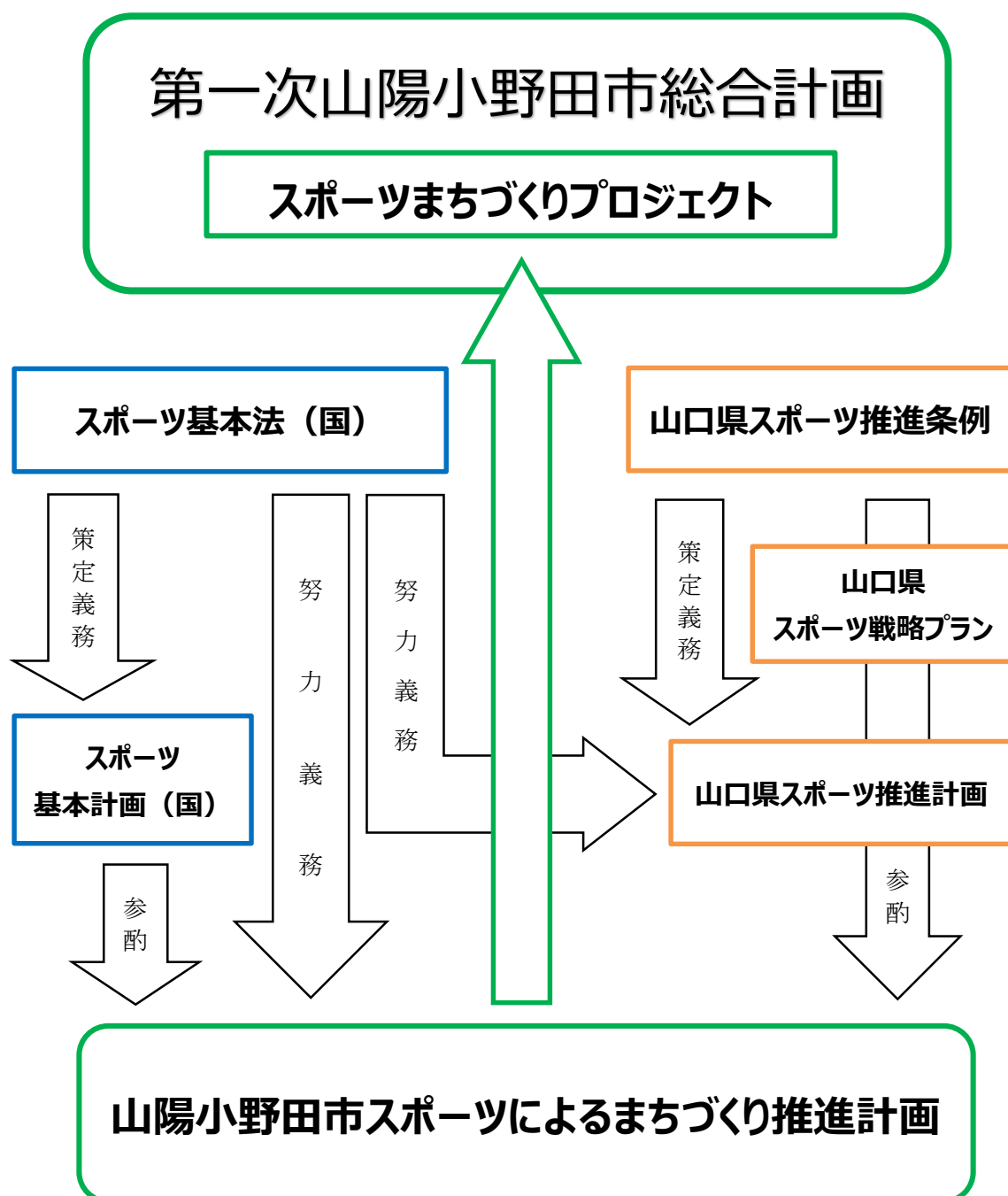
これは、平成23年に国が制定した「スポーツ基本法」の前文に規定された文言です。続けて、「スポーツは心身の健全な発達、健康及び体力の保持増進等、国民が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営む上で不可欠なもの」としています。また、次代を担う青少年についても、「人格等の形成に大きな影響を及ぼすもの」とし、更には、「健康で活力に満ちた長寿社会の実現に不可欠である」とスポーツがいかに大切であるかを述べています。

これらを実現するため、国は「スポーツ基本法」に基づく「スポーツ基本計画」（平成24年）を策定し、山口県においては「山口県スポーツ推進条例」（平成24年）の制定やその方向性を示した「山口県スポーツ戦略プラン」（平成24年）が策定され、これらに基づいた「山口県スポーツ推進計画」が平成25年に策定されました。

本市においても、スポーツがもたらす多面的な役割や重要性を十分に認知した上で、更には、それを「まちづくり」にどのように生かして行くのかも含めた施策を総合的かつ継続的に推進するという観点から「山陽小野田市スポーツによるまちづくり推進計画」（以下「本計画」という。）を策定しました。

2 計画策定の位置付け

本計画は、「第一次山陽小野田市総合計画」を基本に、スポーツ基本法第10条の規定に基づく「地方スポーツ推進計画」として位置付けられ、国が定めた「スポーツ基本計画」や山口県が定めた「山口県スポーツ推進計画」等を参酌し、今後の本市におけるスポーツによるまちづくりに関する施策を総合的かつ継続的に推進するための基本的事項等を定めるものです。



3 計画の期間

本計画は、平成28年度（2016年）から平成37年度（2025年）までの10年を計画期間とします。

なお、本計画は「第一次山陽小野田市総合計画」の次に策定される「第二次山陽小野田市総合計画」の方向性及び今後の社会経済情勢等の変化に的確に対応するため、必要に応じ適宜見直しを行うこととします。

計 画 期 間									
28	29	30	31	32	33	34	35	36	37
第一次 山陽小野田市 総合計画	第二次山陽小野田市総合計画								
山陽小野田市スポーツによるまちづくり推進計画									

4 スポーツの定義

本計画では、スポーツ基本法と同様、「スポーツ」は心身の健全な発達、健康及び体力の保持増進、精神的な充足感の獲得、自律心その他の精神の涵（かん）養等のために個人又は集団で行われる運動競技その他の身体活動、としています。



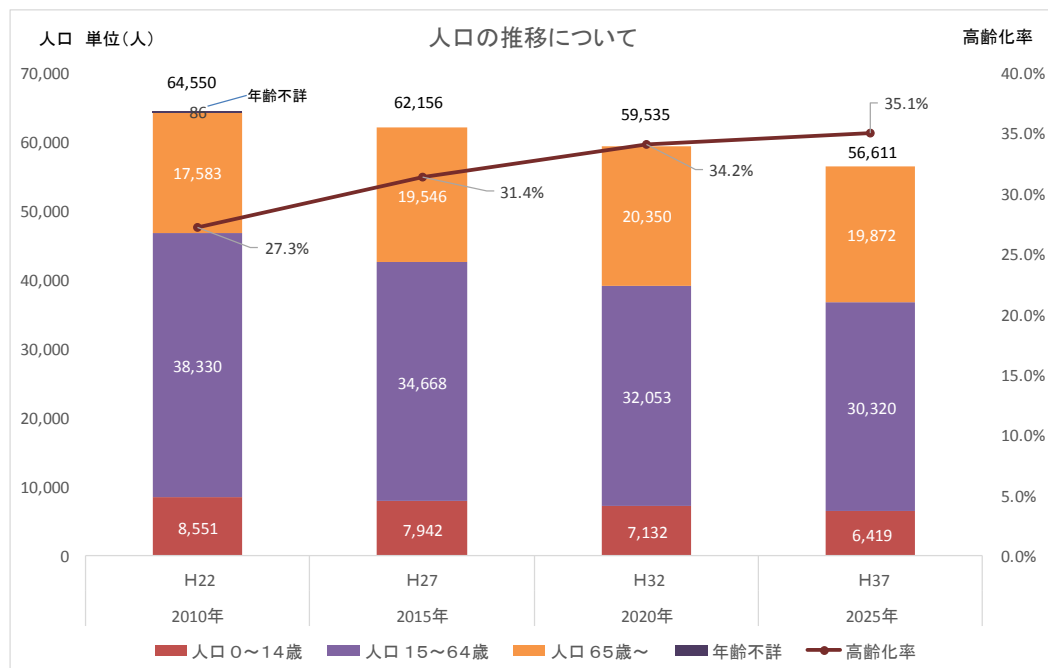
第2章 スポーツをとりまく環境の変化

1 少子・高齢化と人口減少

本市の人口は、平成22年（2010年）の国勢調査によると、64,550人で、全国的に人口減少社会になる中、国立社会保障・人口問題研究所の推計によると平成37年（2025年）の本市の人口は約56,600人となり、総人口に占める65歳以上の人口割合を示す高齢化率は35.1%に上昇すると見込まれています。少子・高齢化の進展と人口減少の進行により、コミュニケーションの機会の減少、家族や地域の支え合う機能の低下などが懸念されます。

今後、さらに高齢化が進行することから、高齢者の健康維持や豊かで充実したセカンドライフを過ごすための環境も整えていく必要があります。スポーツは、学校・家庭・地域・スポーツ団体の連携により、子どもから高齢者まで体力・運動能力の維持・向上、競技力の向上などが図られるだけでなく、心と体の健康づくりが図られます。

また、それぞれのライフステージに応じた交流は、生きがいに貢献することが期待されます。

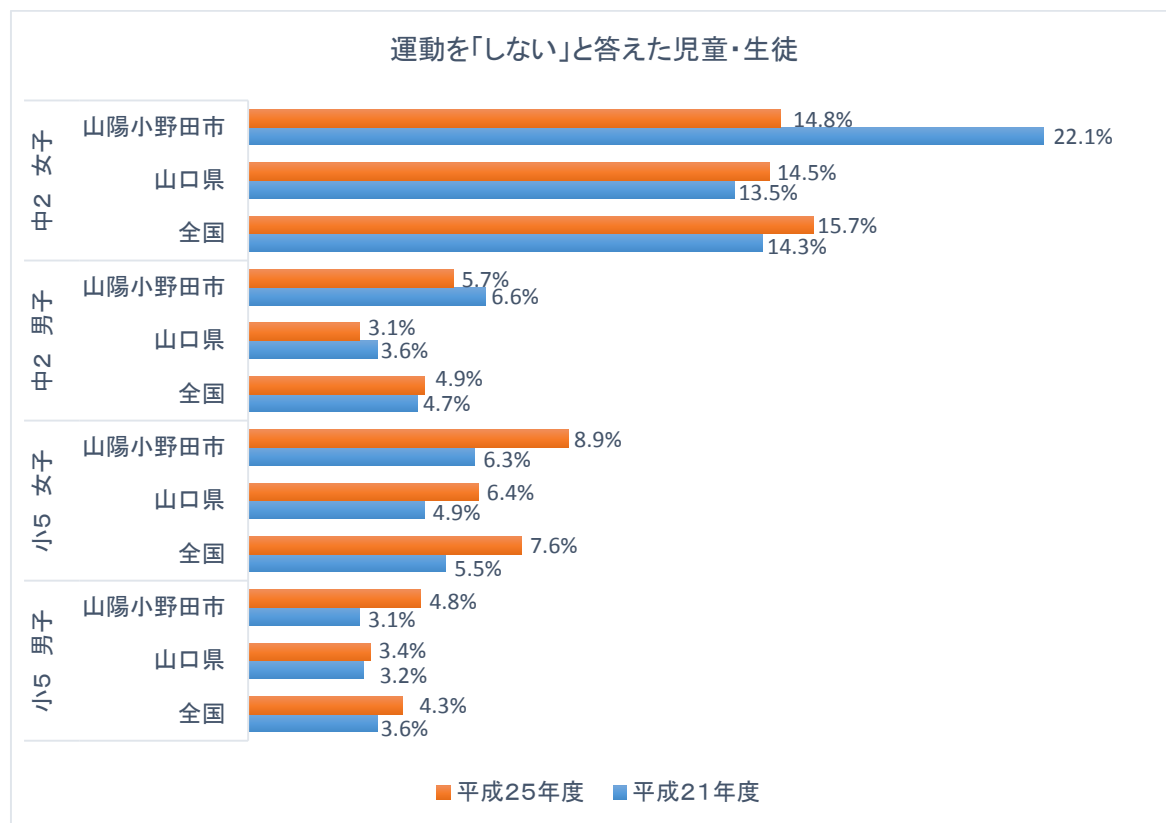


総務省「国勢調査報告」（2010年）、国立社会保障・人口問題研究所 「日本の地域別将来推計人口（平成25（2013）年3月推計）」（2015, 2020, 2025年）

2 子ども達をとりまく体力の現状と課題

少子・高齢化や核家族化による家族形態の変化、地域社会の繋がり希薄化、高度情報化社会の進展等に伴い、子ども達をとりまく環境が変化しています。日常生活の中では、家庭の教育力・地域の教育力の低下が指摘されており、特に子どもの自律心、克己心、規範意識、協調性など社会で生きていく力の低下が懸念されています。

また、子どもの運動の実態に関しては、文部科学省が実施・発表した「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」によると、体育授業を除く運動実施状況で4年前と比較した結果、全国的には「運動をしない女子」のポイントが上昇している中で、本市においては「運動をしない中2女子」のポイントが減少し、全国を下回る一方で、「運動をしない小学生」のポイントの上昇が際立つ結果となりました。



この調査では、学校・家庭・地域との連携についても調査しており、「児童生徒が健やかな体を育んでいくためには、教育委員会を中心に発達段階に見合った遊び・運動やスポーツの実践を普及していくことが重要である。また学校のみならず地域や家庭とも密接な連携をとりながら、継続性をもって長期的に取り組んでいくことが必要である。」としています。

3 地域の連帯感

少子・高齢化、価値観の多様化などにより、地域活動への参加者が減少しており、近所付き合いも減り、地域における子ども同士の交流や、家族や地域の中での様々な人々との触れ合いの機会が減少し、地域の連帯感の低下をもたらしています。

連帯感を醸成し強化するためには、市民一人ひとりがそれぞれの立場で地域社会に参加し、協力していくことが重要であり、特に高齢者は、これまで培ってきた経験や能力を生かした積極的な参加が求められています。このような状況の中、スポーツにより人と人との交流を促進し、地域力の向上に貢献することで地域の連帯感を強化することが期待されます。

4 健康志向

食生活の変化に伴う栄養の偏り、肥満、メタボリックシンドローム、生活習慣病の問題が増える中、健康志向の高揚により、健康を維持し保つための環境づくりや生活習慣の改善の取組が始まっています。スポーツにより、身体機能を高め生活習慣を改善し、市民の健康づくりに貢献することが期待されます。

